

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 小池 誠	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	環境保全活動支援事業費		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	環境保全活動に対する県民の関心を高め、多くの主体が環境保全活動に参加できるよう、情報の提供や活動への支援を行うことにより、環境の保全を図る。	
事業概要	島根県環境基本計画のテーマである「豊かな環境を守り、はぐくみ、持続的に発展する島根」を実現するため、(公財)しまね自然と環境財団を通じて、環境保全活動に関する助成・支援、普及啓発等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	環境保全を活動分野とするNPO法人数	目標値	120.0	120.0	123.0	126.0	129.0	法人
	式・定義	環境保全を活動分野とするNPO法人数	取組目標値						
			実績値	116.0					
			達成率	96.7	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	27,306	29,896
うち一般財源(千円)	22,698	22,938

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

平成27年度の環境保全を活動分野とするNPO法人数は116で、最近5年間の平均(105)を上回っている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

環境保全や社会貢献への関心の高まりを背景に、環境保全を活動分野とするNPO法人数は、増加(H22 87 → H27 116)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

環境保全活動助成金の採択件数が伸び悩んでいる。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・助成金の申請数はあるものの、審査におおらない
- 採択率 H24:61% H25 69% H26 79% H27 61% H28 33%
- ・助成金の目的と申請者のニーズが不一致。活動の継続性や公益性に欠ける申請がある。
- ・申請者の活動企画力が不十分。活動内容を活動計画書や予算書に落とし込めていない。活動手段を目的化している活動が多い。

③原因を解消するための「課題」

申請団体の企画力や活動の運営能力の向上

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・申請団体が行おうとする活動の企画や活動を支援するため、随時相談・助言の体制を構築
- ・「助成金申請マニュアル」等を作成し、活動の企画・立案を支援する講座を開催

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)